

第1日目プログラム <11月13日(水)>

研修-1号室 (地下3階) 収容人員120名		研修-2号室 (地下3階) 収容人員120名		B3-2会議室 (地下3階) 収容人員54名
9:50	開会式			10:00 【ポスターセッション】 1. 放射線量を可視化する装置Orion ScanPlot 一様なフィールドで放射能汚染箇所を正確に特定 ○上條宏明 (関大林組) 2. 重機運転者の被ばく量を半減する放射線シールドシート一装置が簡便な後付け差込シートで運転者の安全を確保 ○清酒芳夫 (関大林組) 3. 小型FWDによる地盤特性評価手法の高度化に関する研究 - 小型FWD試験装置の新たな可能性について ○岡野剛、葉山和則 (関東調器研究所) 葉山和由、横山隆明 (立命館大学) 4. 岸壁耐震補強に用いる、国内最大級アンカー掘削機Ein Bandドリルの開発 ○菅浩一 (日特建設) 5. 建設現場における機械施工の効率化の提案 - 低コストで現場の施工技術を革新する機械式マシンの開発 (法面整形編) - ○笹原久之 (関カナモト)、久徳誠 (関オービット) 6. WCS工法改 加水制御を用いた自走式土質改良機による砂防ソイルセメント (INSEM材) の製造技術 ○西敏臣、片岡廣志、濱山裕司 (玉石重機) 7. 油圧ハイブリッドシステムを搭載した省燃費型油圧ショベルの開発 - CAT 336EL/336ELハイブリッド油圧ショベル ○白澤博志 (キャタピラージャパン) 8. 排出ガス・騒音ゼロの脱着式LEDライト - 夜間作業における作業員の安全確保と第三者からの視認性向上 - ○今関 政美、稲葉誠一 (関アクティオ) 9. 道路、法面、河川敷の竹やぶ、雑草や雑木の粉砕及び回収装置のご紹介 - ブッシュチョッパー&アースシューバー ○相良幸雄 (西尾レントオール) 10. ゴンドラ用「スライダスター」(SJD) - 空中での回転制御でゴンドラの揺れを低減し、外壁の補修・清掃時の作業環境を飛躍的に改善 ○相原一樹、椎名肖一、矢田和也 (関大林組) 11. 分粒装置付きロードスタビライザの開発 - ストーンセパレータの紹介 - ○藤孝之 (鹿島道路機)
10:00	【ICTの利活用(1)】 (3編/60分) 座長: 前原 信之 15. 3Dスキャナによる山岳トンネルの情報化施工適合性調査- 中部横断自動車道 八之尻トンネル工事 - ○藤井攻、真下義章 (清水建設)	10:00	【安全対策】 (3編/60分) 座長: 中島 嘉幸 45. ロングブーム吹付機開発による切羽作業の安全性向上 ○藤吉卓也、鈴木正憲、田代浩信 (清水建設)	
10:20	16. GNSS衛星測位を用いた出来形管理の検討~高さ精度向上機能による計測精度の検証について~ ○平岡茂樹 (関トプコン)、椎葉祐士 (日本建設機械施工協会)、梶田洋規 (国土技術政策総合研究所)	10:20	46. 掘削用機械のつり荷走行時におけるつり荷重の変動計測 ○堀野仁、玉手聡 (独)労働安全衛生総合研究所	
10:40	17. RTK-GNSSを用いた出来形管理要領の検討~高さ補完装置導入に向けた手引きと精度確認ガイドラインについて~ ○梶田洋規 (国土技術政策総合研究所)、先村律雄、平岡茂樹 (関トプコン)	10:40	47. 振動加速度計の計測によるコンクリートの圧送性評価システムの提案 ○橋本紳一郎、案浦佑巳、江本幸雄 (福岡大学)	
11:00	休憩 (10分)	11:00	休憩 (10分)	
11:10	【ICTの利活用(2)】 (3編/60分) 座長: 小室 洋 18. TSを用いた出来形管理の適用工種拡大とデータ再利用に向けた標準的なモデルに関する研究 ○谷口寿俊、梶田洋規 (国土技術政策総合研究所)、椎葉 祐士 (日本建設機械施工協会)	11:10	【災害、防災、復旧・復興(1)】 (3編/60分) 座長: 田中 利昌 1. 電動式飛行ロボットの活動適用例と技術的な課題に関する考察 ○富田茂 (キャリアオ技研)	
11:30	19. 3次元ブロックモデルを利用した盛土の施工管理システム ○岩谷隆文、佐藤雄彦、杉本幸信 (西松建設)	11:30	2. 造粒技術による災害廃棄物の復興資源化 ○大友信悦、須々田嘉彦 (清水建設)、勅使河原和則 (恵和興業)	
11:50	20. 太陽光発電による自律式ネットルーティングの開発 ○新見孝之、近藤高弘、志波由紀夫 (大成建設)	11:50	3. 分級と改良を用いたゴミ混じり津波堆積土砂の再資源化に関する試験施工 ○高橋弘 (東北大学)、泉信也 (東亜建設工業)、柴田聡 (関森環境技研)	
12:10	休憩 (50分)		休憩 (50分)	
13:00	特別講演 (60分) B2ホール 道路橋の維持管理 - 長寿命化の推進でわかってきたこと - (一財)橋梁調査会 専務理事 西川和廣氏		13:10	
14:00	【ICTの利活用(3)】 (4編/80分) 座長: 小栗 賢一 21. ロックフィルダム盛立におけるICT施工の定量評価 ○松尾健二、石突寿啓、藤谷雅義 (前田建設工業)	14:00	【品質確保とコスト削減(2)】 (5編/110分) 座長: 藤野 健一 32. 基礎杭施工時の振動波形による支持地盤の判定 - 地盤評価装置による基礎杭施工への適応評価 - ○近藤高弘 (大成建設)、溝口敬義 (ひびきエル・エヌ・ジー)、佐々木睦雄 (千代田化工建設) 33. 低コスト及び環境配慮型の低変位超高压噴射攪拌工法 (機械攪拌と高压噴射攪拌のハイブリッド式深層混合処理工法) ○近藤省一 (小野田ケミコ)、齊藤邦夫 (中央大学)、西島純一郎 (国交省長崎河川国道事務所) 34. 切削状態モニタリング技術を用いた高压噴射攪拌工法の高効率施工 ○島野嵐、山崎淳一 (三信建設工業) 35. カメラ式鉛直器を利用した逆打ち支柱精度管理技術の高度化 ○池田雄一、深谷茂樹、平野裕二 (関大林組) 36. 電磁波を利用した土の現場密度試験の適用性 - 2種類の砂質土による実験結果 - ○橋本毅、茂木正晴、藤野健一 (独)土木研究所)	
14:10	22. 情報化施工での設計データ流通の最適化の課題と対策の方向性 ○藤野健一、山口崇 (独)土木研究所、藤島崇 (日本建設機械施工協会)	14:10	29. セグメント施工品質を向上させるテールクリアと真円度の連続計測システムの開発 ○平野高嗣、浅沼廉樹 (関フジタ)	
14:30	23. 建設機械制御データのアウトプット機能について ○福川光男 (鹿島道路機)	14:30	30. 新幹線直上に高架橋架設を行う機械装置の開発 (東北縦貫線工事の実績) ○穴井秀和、永田敏秋、幸野寛伸 (鹿島建設)	
14:50	24. 振動ローラ加速度応答法による盛土締固めの品質管理への適用~粗粒材料を対象とした大型土槽実験~ ○中村洋丈 (中日本高速)、藤岡一頼 (高速道路総研)、古屋弘 (大林組)、内山忠一 (酒井重工業)、松本江基 (安藤ハザマ)、浅田浩司 (不動テトラ)	14:50	31. 矩形アンダーパス工事に特化した密閉式掘削機による地下連絡通路の施工実績 - 新御茶ノ水駅連絡出入口設置工事 - ○諸橋敏夫、坂根英之 (鹿島建設)	
15:10	25. 振動ローラ加速度応答法による盛土締固めの品質管理への適用~粗粒材料を対象とした大型土槽実験~ ○中村洋丈 (中日本高速)、藤岡一頼 (高速道路総研)、古屋弘 (大林組)、内山忠一 (酒井重工業)、松本江基 (安藤ハザマ)、浅田浩司 (不動テトラ)	15:10	32. 基礎杭施工時の振動波形による支持地盤の判定 - 地盤評価装置による基礎杭施工への適応評価 - ○近藤高弘 (大成建設)、溝口敬義 (ひびきエル・エヌ・ジー)、佐々木睦雄 (千代田化工建設)	
15:30	【維持・管理・補修】 (5編/110分) 座長: 立石 洋二 48. 海底ゴミ回収装置の開発 ○平林丈嗣、吉江宗生 ((独)港湾空港技術研究所)、杉浦悠介 (国交省四国地方整備局) 49. 冬期道路交通に影響する道路有効幅員の計測手法の検討 ○大上哲也、住田則行、三浦豪 (独)土木研究所寒地土木研究所 50. 作業船設備予知保全における診断システムの開発 - 予知保全技術の作業船への適用事例 - ○長澤太一 (東亜建設工業)、戸村雅一 (ジャパノマシナリー)、柴田勝規 (関IMC) 51. 音源探査装置 (音カメラ) を用いたフィンガージョイントの劣化診断に関する研究 ○柴山有二、川井田実 (中日本高速道路)、大脇直直 (関熊谷組) 52. ネットワーク型河川GISモデルを用いたシミュレーションによる土木機械設備の社会的影響度評価手法の検討 ○山尾昭、藤野健一 (独)土木研究所)、竹田 英之 (国交省関東地方整備局)	15:30	33. 低コスト及び環境配慮型の低変位超高压噴射攪拌工法 (機械攪拌と高压噴射攪拌のハイブリッド式深層混合処理工法) ○近藤省一 (小野田ケミコ)、齊藤邦夫 (中央大学)、西島純一郎 (国交省長崎河川国道事務所) 34. 切削状態モニタリング技術を用いた高压噴射攪拌工法の高効率施工 ○島野嵐、山崎淳一 (三信建設工業) 35. カメラ式鉛直器を利用した逆打ち支柱精度管理技術の高度化 ○池田雄一、深谷茂樹、平野裕二 (関大林組) 36. 電磁波を利用した土の現場密度試験の適用性 - 2種類の砂質土による実験結果 - ○橋本毅、茂木正晴、藤野健一 (独)土木研究所)	
15:40	48. 海底ゴミ回収装置の開発 ○平林丈嗣、吉江宗生 ((独)港湾空港技術研究所)、杉浦悠介 (国交省四国地方整備局)	15:40	32. 基礎杭施工時の振動波形による支持地盤の判定 - 地盤評価装置による基礎杭施工への適応評価 - ○近藤高弘 (大成建設)、溝口敬義 (ひびきエル・エヌ・ジー)、佐々木睦雄 (千代田化工建設)	
16:00	49. 冬期道路交通に影響する道路有効幅員の計測手法の検討 ○大上哲也、住田則行、三浦豪 (独)土木研究所寒地土木研究所	16:00	33. 低コスト及び環境配慮型の低変位超高压噴射攪拌工法 (機械攪拌と高压噴射攪拌のハイブリッド式深層混合処理工法) ○近藤省一 (小野田ケミコ)、齊藤邦夫 (中央大学)、西島純一郎 (国交省長崎河川国道事務所)	
16:20	50. 作業船設備予知保全における診断システムの開発 - 予知保全技術の作業船への適用事例 - ○長澤太一 (東亜建設工業)、戸村雅一 (ジャパノマシナリー)、柴田勝規 (関IMC)	16:20	34. 切削状態モニタリング技術を用いた高压噴射攪拌工法の高効率施工 ○島野嵐、山崎淳一 (三信建設工業)	
16:40	51. 音源探査装置 (音カメラ) を用いたフィンガージョイントの劣化診断に関する研究 ○柴山有二、川井田実 (中日本高速道路)、大脇直直 (関熊谷組)	16:40	35. カメラ式鉛直器を利用した逆打ち支柱精度管理技術の高度化 ○池田雄一、深谷茂樹、平野裕二 (関大林組)	
17:00	52. ネットワーク型河川GISモデルを用いたシミュレーションによる土木機械設備の社会的影響度評価手法の検討 ○山尾昭、藤野健一 (独)土木研究所)、竹田 英之 (国交省関東地方整備局)	17:00	36. 電磁波を利用した土の現場密度試験の適用性 - 2種類の砂質土による実験結果 - ○橋本毅、茂木正晴、藤野健一 (独)土木研究所)	
17:20	移動 (10分)	17:20	移動 (10分)	
17:30	移動 (10分)	17:30	移動 (10分)	

懇親会 (レストラン・ニュートーキョー: 地下3階) 17:30~19:00

※ プログラムは変更となる場合がありますので予めご了承下さい。

第2日目プログラム <11月14日(木)>

研修-1号室 (地下3階) 収容人員120名		研修-2号室 (地下3階) 収容人員120名		B3-2会議室 (地下3階) 収容人員54名	
9:40	<p>【ICTの利活用(4)】 (3編/60分)</p> <p>座長: 行川 恒弘</p> <p>25. 情報化施工を活かす新たな施工管理(MC施工を前提とした情報化施工技術の新たな施工管理への展開)</p> <p>○坂本鋼三、二瓶正康、稲垣義明(国土交通省関東地方整備局)</p>	9:40	<p>【災害、防災、復旧・復興(2)】 (3編/60分)</p> <p>座長: 西脇 徹郎</p> <p>4. 市街地や構造物近傍での液状化対策を可能とした静的締固め砂杭工法の開発</p> <p>○篠井隆之(日本海工機)、森弘弘(熊鷹谷組)</p>	10:00	<p>【ポスターセッション】</p> <p>1. 放射線量を可視化する装置Orion ScanPlot 一様なフィールドで放射能汚染箇所を正確に特定</p> <p>○上條宏明(関大林組)</p>
10:00	<p>26. ブルドーザ作業機自動制御の適用範囲拡大</p> <p>○嶋田 健二郎、林 和彦、石橋 永至(関小松製作所)</p>	10:00	<p>5. 放射性底泥除去システムの開発</p> <p>○松島弘樹、泉信也(東亜建設工業株)</p>	10:00	<p>2. 重機運転者の被ばく量を半減する放射線シールドシート</p> <p>一装置が簡便な後付け遮蔽シートで運転者の安全を確保</p> <p>○清酒芳夫(関大林組)</p>
10:20	<p>27. 加速度応答法の品質管理への適用-振動ローラを用いた締め管理に関する大型土槽実験結果と考察-</p> <p>○古屋弘(大林組)、松尾健二、飯島健(前田建設工業)中村洋丈(中日本高速)、藤岡一頼(高速道路総研)</p>	10:20	<p>6. 既存施設直下地盤の液状化対策-長距離に対応した曲り削孔システム-</p> <p>○大野 康年、泉信也(東亜建設工業株)</p>	10:20	<p>3. 小型FWDによる地盤特性評価手法の高度化に関する研究</p> <p>一小型FWD試験装置の新たな可能性について</p> <p>○岡野剛、美山和則(朝東京測器研究所)</p>
10:40	<p>休憩 (10分)</p>	10:40	<p>休憩 (10分)</p>	10:40	<p>4. 岸壁耐震補強に用いる、国内最大級アンカー掘削機EiN Bandドリルの開発</p> <p>○菅浩一(日特建設株)</p>
10:50	<p>【環境保全、省エネルギー対策(1)】 (4編/80分)</p> <p>座長: 竹之内 博行</p> <p>37. 回収型掘進機を利用した環境負荷低減対策</p> <p>○宇留間高広、高島哲明、川嶋英介(興典村組)</p>	10:50	<p>【災害、防災、復旧・復興(3)】 (4編/60分)</p> <p>座長: 玉石 修介</p> <p>7. 第4世代無人化施工の緊急対策工事への適用報告-超長距離遠隔操作実証実験から北斜面崩壊災害復旧工事適用へ-</p> <p>○坂西孝仁、北原成郎(熊鷹谷組)</p>	10:50	<p>5. 建設現場における機械施工の効率化の提案</p> <p>一低コストで現場の施工技術を革新する機械式マシニング(法面整形編)</p> <p>○菅原久之(関カナモト)、久徳誠(関オービット)</p>
11:10	<p>38. 粉塵防止型セメントミルク混合装置の開発</p> <p>○大竹元志、平藤雅也、端孝之(鹿島道路株)</p>	11:10	<p>8. 土系技術者数の推移と今後の建設生産体制の課題について</p> <p>一統計データから見る建設生産改革の必要性-</p> <p>○大槻崇(環境省)、藤野健一(独)土木研究所)</p>	11:10	<p>6. WCS工法改 加水制御を用いた自走式土質改良機による砂防ソイルセメント(INSERM)の製造技術工法</p> <p>○西敏臣、片岡廣志、濱山裕司(玉石重機株)</p>
11:30	<p>39. 建設機械へのバイオディーゼル燃料(B100)の使用と取り組み-中部横断自動車道 八之尻トンネル工事-</p> <p>○藤井攻、前田全規(清水建設株)、小豆嶋和洋(関セベック)</p>	11:30	<p>9. 無人化施工と有人施工における作業性の比較実験報告</p> <p>○茂木正晴、藤野健一、西山章彦(独)土木研究所)</p>	11:30	<p>7. 油圧ハイブリッドシステムを搭載した省燃費型油圧ショベルの開発</p> <p>一CAT 336E II/336E L IIハイブリッド油圧ショベル</p> <p>○白澤博志(キャタピラー-ジャパン株)</p>
11:50	<p>40. 多様な環境技術とCO2モニタリングを組合せたシールド環境対応システムの開発</p> <p>○平野高嗣、川上勝彦(関フジタ)</p>	11:50	<p>10. 都市部における地下街冠水対策検討</p> <p>○増尾健、田中義光、村上大幹(国土交通省関東地方整備局関東技術事務所)</p>	11:50	<p>8. 排出ガス・騒音ゼロの脱着式LEDライト</p> <p>一夜間作業における作業員の安全確保と第三者からの視認性向上-</p> <p>○今関 政美、稲葉誠一(関アクティオ)</p>
12:10	<p>休憩 (50分)</p>		12:10	<p>9. 道路、法面、河川敷の竹やぶ、雑草や雑木の粉砕及び回収装置の紹介</p> <p>一ブッシュチョッパー&アースシューバー</p> <p>○相良幸雄(西尾レントオール株)</p>	
13:00	<p>【環境保全、省エネルギー対策(2)】 (4編/80分)</p> <p>座長: 須田 幸彦</p> <p>41. ジャッキダウン式環境配慮型ビル解体工法の100mを超える超高層ビルへの適用</p> <p>○大橋正音、藤澤志志、水谷亮(鹿島建設株)</p>	13:00	<p>【災害、防災、復旧・復興(4)】 (3編/60分)</p> <p>座長: 小林 真人</p> <p>11. 緊急小型車両の通行を想定した新しい緊急橋の実験的研究</p> <p>○近広雄希、有尾一郎(広島大学大学院)、小野秀一(日本建設機械施工協会)、中沢正利(東北学院大学)</p>	13:00	<p>10. ゴンドラ用「スカイジャスター」(S1-G) 一空中での回転制御でゴンドラの揺れを低減し、外壁の補修・清掃時の作業環境を飛躍的に改善</p> <p>○柏原一樹、椎名肖一、矢田和也(関大林組)</p>
13:20	<p>42. アスファルトプラントにおける固形燃料燃焼システムの開発</p> <p>○榊真司、吉野健治(日工機)、相田尚(関NIPPO)</p>	13:20	<p>13. プラスト処理による除染作業の効率化-トライアスタおよびバキュームアストロパットによる実証試験-</p> <p>○澤田見也、森一紘、高橋昌宏(戸田建設株)</p>	13:20	<p>11. 分粒装置付きロードスタビライザの開発</p> <p>一ストーンセパレータの紹介-</p> <p>○端孝之(鹿島道路株)</p>
13:40	<p>36. ハイブリッド化に伴う発電機自動発停システムの開発</p> <p>○宮本憲都、今村一紀、永木君治(東亜建設工業株)</p>	13:40	<p>14. 省力化した壁面放射線量の測定方法</p> <p>○板谷俊郎、森一紘、澤田見也(戸田建設株)</p>	13:40	<p>11. 分粒装置付きロードスタビライザの開発</p> <p>一ストーンセパレータの紹介-</p> <p>○端孝之(鹿島道路株)</p>
14:00	<p>45. 実稼働状態の建設機械排出ガス計測結果における一考察</p> <p>○石松豊、藤野健一、西山章彦、杉谷康弘(独)土木研究所)</p>	14:00	<p>休憩 (10分)</p>	14:00	<p>11. 分粒装置付きロードスタビライザの開発</p> <p>一ストーンセパレータの紹介-</p> <p>○端孝之(鹿島道路株)</p>
14:20	<p>休憩 (10分)</p>		14:20	<p>11. 分粒装置付きロードスタビライザの開発</p> <p>一ストーンセパレータの紹介-</p> <p>○端孝之(鹿島道路株)</p>	
14:30	<p>平成23年度研究開発助成対象成果報告</p> <ul style="list-style-type: none"> 「複雑作業への適用を目的とした無人化施工における車載・環境カメラの可動性効果の検証とその半自動コントロール手法に関する基礎的研究」 亀崎允啓(早稲田大学理工学術院総合研究所講師) 「フィードバック変調器による油圧駆動型建設機械の精密位置決め容易化」 横小路泰義(神戸大学大学院工学研究科教授) 「動電式加振器のコンクリート構造物地震時損傷評価への応用」 鈴木基行(東北大学大学院工学研究科教授) 「回転表面波機構を用いた防塵防水型レスキューロボットの開発」 広瀬茂男(東京工業大学大学院理工学研究科卓越教授) 				
15:50	<p>休憩 (10分)</p>		15:50	<p>10. ゴンドラ用「スカイジャスター」(S1-G) 一空中での回転制御でゴンドラの揺れを低減し、外壁の補修・清掃時の作業環境を飛躍的に改善</p> <p>○柏原一樹、椎名肖一、矢田和也(関大林組)</p>	
16:00	<p>パネルディスカッション (80分) B2ホール</p> <p>○テーマ: これからの情報化施工 -社会インフラマネジメントの始まり-</p> <p>○コーディネータ: 建山和由氏(立命館大学教授)</p> <p>○パネラー: 高村裕平氏(国土交通省大臣官房技術調査課建設システム管理企画室室長)</p> <p>岩見吉輝氏(国土交通省総合政策局公共事業企画調整課施工安全企画室室長)</p> <p>山口 崇氏(独)土木研究所技術推進本部先端技術チーム主任研究員)</p> <p>迎野雅行氏(コマツ開発本部業務部長)</p> <p>古屋 弘氏(関大林組技術本部技術研究所生産技術研究部主席技師)</p>		16:00	<p>11. 分粒装置付きロードスタビライザの開発</p> <p>一ストーンセパレータの紹介-</p> <p>○端孝之(鹿島道路株)</p>	
17:20	<p>休憩 (10分)</p>		17:20	<p>※ 2日目のポスターセッションは15:50までとなります。</p>	
17:40	<p>B2ホール 表彰式 (20分)</p>		17:40	<p>※ 2日目のポスターセッションは15:50までとなります。</p>	

※ プログラムは変更となる場合がありますので予めご了承下さい。